

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 2月 15日 事業所名 通園らっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	②	職員の配置数は適切である	7		職員の欠席にも対応できるように配置をしています。	職員の休日のとり方を工夫したいと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		本人に分かりやすいように、動物のマークと名前を貼っています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	2	掃除に手が行き届いていない部分を見つけた時には声をかけ合い環境の整頓を行っています。	環境設定も大切な仕事の一つと捉え、心地良い空間作りに努めます
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		外部評価を頂いた事はありません。今後の課題としていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		今年度はコロナ禍の為、回数は少なかったですが、オンラインで受けました。	
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	7			

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	⑫	個別支援計画には、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」などの子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われている	7		子どもの発達をその都度職員間で確認し合いながら取り組んでいます。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	7			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼で一日の流れや役割、子どもについて等確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼で一日を振り返り、改善策や次の日の取り組みに繋がるよう話し合っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		個人のケース記録を取って、次の支援に繋げています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7		年2回のモニタリングを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		担当者会議に出向き参加しています。	(無回答3)
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			

との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		転園や就学の際には移行先の見学や体験に同行し、支援内容等について情報共有し、移行がスムーズに行えるように努めています。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		見学や体験入学等に同行し、情報共有を行い、移行がスムーズに行えるように努めています。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7		地域の保育所と月一回交流させていただいています。子どもの状況を判断し、必要な場合は交流しています。	
	㉖	自立支援協議会の発達支援部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5			(無回答2)
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		降園時等、できるだけ声をかけるよう心がけています。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(親子保育や保護者学習会等)の支援を行っている	7			
	保護	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		入所時に説明しています。

者 へ の 説 明 責 任 等	③③	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	7			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	③⑤	親子保育や保護者懇談会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		週一回程度、親子保育を行っています。	今年度はコロナ禍の為、懇談会等保護者同士の連携の支援を思うように行えませんでした。 →来年度の支援の在り方を模索していきたいと思います。
	③⑥	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	反省する点もありますが、その都度真摯に対応するよう心掛けています。	
	③⑦	定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		今年度はホームページの更新ができていませんでした。 →定期的なお便りの内容の充実をさらに工夫したいと思います
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
非 常 時 等 の 対 応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		地域住民を対象とする行事は行っていません。 →地域の方を招待する等は行っていませんが、開かれた事業所となるように、日常から関係をしっかりと作っていきたく考えています。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		消防署と連携し、職員間で訓練を実施し、意思統一しています	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		月一回行っています。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		入所時や年度変わりに保護者に記録していただいています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされている	7		アレルギーがある場合は保護者から医療での診断結果についてしっかり聞き取りを行っています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットの記入を心がけています。 職員間でヒヤリハットを共有し、改善策や次の対応等についてしっかり話し合っています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		法人主催による研修を行っています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	7			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。